

# 平成28年度 学園経営方針

凌風学園  
学園長 稲田 雅己

## 「学園教育目標」

自らを高め 共に生き 希望を抱いて 未来を拓く

## 「めざす子ども像」

- 知的好奇心をもち、素晴らしいものに素直に感動できる、豊かな感性をもつ子
- 向上心をもち、「わかる」「できる」を次につなげようとする子
- 自分を大切にし、他の人のよさや違いを認め、共に生きる子
- 将来の自分を想い、夢をもち、その実現に向け、ひたむきに努力する子

## 「重点指導方針」

### ○ 学びの作法の習得

「高い志の実現に向け、互いに高め合う個と集団の育成」

→ 授業規律の確立、学び方の獲得、学習の習慣化により、自らを高める態度の育成を図る。

### ○ 言語活動の充実

「言葉で考え、表現し、伝え合う個と集団の育成」

→ 思考力・判断力・表現力と豊かなコミュニケーション能力の伸長を図る。

### ○ キャリア形成支援

「自らを社会の一員としてとらえ、積極的に参画する個と集団の育成」

→ 卒業までに一定の社会性を身につけ、生涯にわたって学習し続ける基礎の確立を図る。

## 「本年度の学園経営重点方針」

～「チーム凌風」としてのシステムの確立を図る～

- ① 学園教育目標及びめざす子ども像を全教職員が共通認識し、施設一体型小中一貫校の強みを最大限に活かし、子どもの9年間の学びと育ちをつなぎ、心身の発達・発育状況に応じた質の高い指導を行う。
- ② これまでの実践で培ってきた専門性を全体で共有・活用し、教職員相互に学びあいながら、校種を超えた新しい学校文化を創造する。
- ③ たえず教育効果の検証・改善に努めるとともに、小中一貫教育の先進モデル校として積極的に研究開発に取り組み、自校、さらには京都市教育の充実・発展に寄与する。
- ④ 学園関係者の自校教育への理解・信頼を高め、共に子どもを育むための活動への協力・支援を得て教育の充実・発展を図るため、学園情報の積極的公開や学校評価の取組を一層推進する。
- ⑤ 家庭・関係教育機関とも連携し、就学前後の教育の充実に努める。
- ⑥ 校務支援システムによる、校務の効率化を図り業務改善に努める。
- ⑦ 危機管理マニュアルの周知徹底及び防災教育・防災管理の充実を図る。